指　導　方　針

サッカーそのものの楽しさを知り基礎体力の育成を図ることはもちろん、『仲間と協力して助け合うこと』『目標に向かって努力すること』など、サッカーから得ることができる様々な経験を通じ子供たちの精神的な成長をはかると同時に、地域社会の一員として礼儀やルールを重んじる精神を養い、子供たちの豊かな心のふれあいを深めることを基本として、以下のとおり本クラブの指導方針を定めます。

■ 永くサッカーを楽しめるように

小学生年代として重要視される部分でもある個人技術の習得・向上と、自分で判断して動けるようになることを第一に指導します。
周りを見て判断して自分でボールを運びゴールを目指す選手となるように！

■ 楽しめるメニューを取り入れながらボールの扱いを中心とした練習

判断・発想に関わる部分については、はじめから答えを教えてしまうのではなく、 時にヒントを出しながら問いかけ、子供たちに考えさせます。
すべての指導において子供たちの発育・発達の流れを考慮した指導メニューをつくり実践します。

■ 低学年

✧ 運動することの楽しさを感じられる練習
✧ 感性を刺激する練習
✧ まずは自分ひとりでボールを運ぶ
✧ ひとりのボールに大勢が集まる、いわゆるダンゴサッカーをあえてしばらく行う
✧ 周りを見ながらボールを扱う習慣づくり

■ 高学年

✧ 周りを見て的確なファーストタッチからパス・ドリブルを上手く使い分けながらゴールを目指す
✧ 二人以上の関係を意識したサッカーへの発展

浜田山ジュニアサッカークラブ　監督・コーチ一同